

題 材 「早くしてほしいけど・・・」(対象：低学年)

1 ねらい

相手を尊重しながら、自分の気持ちを上手に伝える方法を知らせる

2 場面設定

登校時、毎朝友だちに待たされる

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、前段の部分を読む。)

みなさんなら、こんな時どう言いますか？

プリントに3つの言い方があります。一つずつ読んでみましょう。

□ (①を読む。)

どうですか？

自分の気持ちをそのままみさきさんに伝えていきますね。

そうすると、みさきさんは「じゃあ、一人で行ってよ」と怒るかもしれないね。

□ (②を読む。)

この言い方はどうですか？

上手に言えたように思えますが、みさきさんと一緒に学校に行くことはできませんね。

□ (③を読む。)

この言い方はどうですか？

みさきさんと一緒に行きたい、という気持ちを伝えているね。

それと一緒に、待たせないように早くしてねということもきちんと伝えているね。

□ 毎朝、待たされるのは嫌だよね。

自分だけが我慢するのでは解決にはならないよね。

上手な伝え方は、みさきさんと一緒に行きたいという自分の気持ちをきちんと伝えること、それと一緒に、待たせないでほしいという気持ちも伝えることです。

先生は、みなさんに、友だちの気持ちを大切にしながら、自分の気持ちもうまく伝えることができるようになってほしいと願っています。

早くしてほしいけど・・・

どう言えばいいのかな？
がまんするしかないのかな？

わたしは、毎朝、友だちのみさきさんの家によって、いっしょに学校に行っています。でも、さきさんはいつもわたしがまたされて、ちこくしそうになります。早くしてほしいけど、友だちだからなかなかうまく言えません。どう言えばいいのかな？



- ① 「早くしてよ！いつもまたされるのはもういや。」
- ② 「おそくなるときは、さきに行くからね。」
- ③ 「いっしょに行きたいから、またせないでね。」

題 材 「楽しく話がしたい・・・」(対象：中学年)

1 ねらい

仲間はずれにされた寂しさを理解させ、友だちを大切にできる心情を育む

2 場面設定

3人で下校中、自分だけ仲間はずれにされている

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、全部読む。)

みなさんだったら、こんなときどうしますか？

「私も仲間に入れてよ」と、すぐに話せる人もいるでしょう。でも、なかなか自分からは言い出せない人もいるよね。

2人だけで楽しそうに話をして、自分だけ話しかけられないのって寂しいよね。

□ 私は、どんなことを考えているのかな？

「また今日も話しかけてくれないのかな？」

「2人とも、私のことが嫌いなのかな？」

「私が何か悪いことをしたのかな？」

「私がいっしょに帰らない方がいいのかな？」

「明日からは、一人で帰ろうかな？」

□ そんな私の気持ちを知った2人は、こんな話をしていました。

「えー、そんなこと思ってたんだ」

「すぐに言ってくれればよかったのに」

「私たち、そんなつもりはなかったのよ」

□ 仲間に入れてもらえないときは、「不安」や「寂しさ」を感じるものです。

自分が楽しいときは、周りの人の気持ちまで考えられないことがあります。

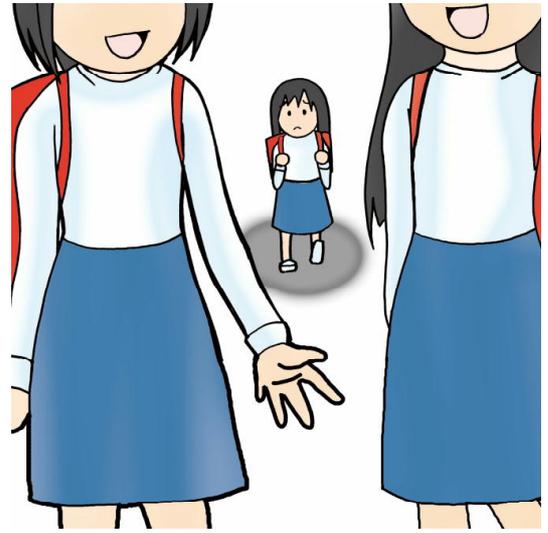
みなさんも、ちょっと周りを見てごらん。みんなが楽しく過ごせるといいですね。

たの はなし 楽しく話がしたい・・・

なぜ、ふたりだけで話すの？
わたしも仲間に入れてよ・・・

いつも3人で仲よく帰っていたのに、最近、ふたりだけで楽しそうに話をして、わたしだけが仲間はずれになっているような気がします。

今までのように、3人で仲よく帰りたいけど、どうしたらいいのかな？



- ① がまんして、ふたりが話しかけてくれるのを待つ。
- ② 「どうしてわたしを仲間に入れてくれないの？」と勇気を出して聞いてみる。
- ③ 「いっしょに楽しく帰りたいから、わたしも仲間に入れてよ。」と自分の気持ちを伝えてみる。

題 材 「きちんとつたえるには・・・」(対象：低学年)

1 ねらい

自分だけで悩まないで、周りの人に相談してよいことを知らせる

2 場面設定

下校時、毎日カバンを持たされる

3 指導の流れ

(プリントを配付し、全部読む。)

みなさんだったら、どうしますか？

自分の気持ちを伝える方法はいろいろあると思いますが、「いつもぼくだけがみんなのカバンを持つのはイヤだから、カバンは自分で持って」と、きちんと友だちに伝えることが一番大切です。

それでもだめなら、
おうちの人に話してみるとか、先生に相談してみるという方法がよいでしょう。

みなさんの周りには、たくさんの大人の方がいますよね。
もし、みなさんだけでうまくいかないことがあるときは、周りの大人の力を借りましょう。
相談することは、決して恥ずかしいことではありませんよ。
周りの人たちは、みんなが楽しく、仲よく生活してほしいと願っています。

先生もみんなの力になりたいと思っていますので、もし困ったことがあったら、いつでも相談してね。

きちんとつたえるには・・・

どう話せばいいのかな？
みんなのカバンをもつのはイヤだな

しょうがくせい
小学生になってから、ぼくは
まいにちとも
毎日友だちと3人で帰ってしまし
た。

でも、だんだんいっしょに帰る
のがイヤになっています。



3人でじゃんけんをして、まけた人が友
だちのカバンをぜんぶもって帰ってしまし
たが、いつの間にか、ぼくが毎日カバンを
ぜんぶもつようになりました。友だちは、
ぼくがもつのがあたり前だと思っているよ
うです。

今さら、イヤだと言いにくいし・・・

でも、毎日カバンをもたされるのはイヤ
だし・・・

どうすればいいのかな？

題 材 「行こうか、断ろうか・・・」(対象：高学年)

1 ねらい

他者との関係を大切にする中で、自分で正しく判断し、実行する力を身に付けさせる

2 場面設定

学校の帰りに、友だちに寄り道しようと誘われた

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、全部読む。)

みなさんは、こんな経験はありませんか？

友だちから誘われたときに、自分だけ断るのは勇気がいるよね。

みなさんだったら、こんなときどうしますか？

□ まず、「一緒に行く」という人がいると思います。でも、学校の帰りに寄り道をするのは、よいことではありませんね。

みなさん、「集団心理」(板書)という言葉を知っていますか？

「明らかに間違っている内容でも、大勢が賛成すると反対する人が次第にいなくなる」という実験結果があるそうです。間違っていると思っている人も、大勢の意見に次第に流されてしまうというのです。

これ、怖いと思いませんか？

□ 次に、「自分には行かない」という人がいると思います。寄り道をしないことは正しい判断ですが、自分だけ断るのは勇気がいるよね。

では、どうすればいいのかな？

例えば、「次の休みの日にみんなで行こう」と、提案するというのはどうでしょうか。

これだと、誰も寄り道をせずに、みんなで休みの日に楽しく遊べそうだね。

□ みなさんは、これからも、いろいろな集団の中で生活していきます。

友だちとよい関係を保ちながら、何が正しくて、何が間違っているのか、自分で判断し、実行できる人になってほしいと願っています。

行こうか、断ろうか・・・

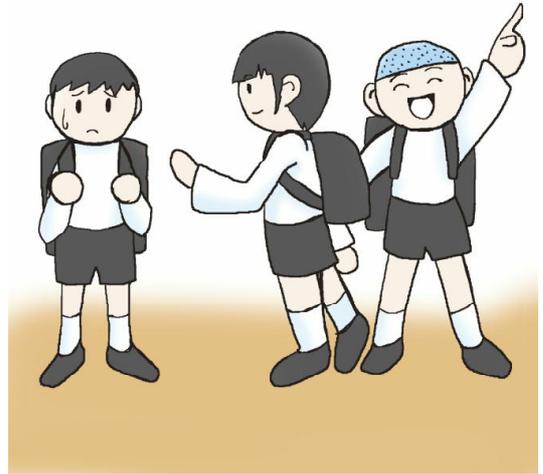
自分だけ行かないのも悪いし
寄り道はダメとされているし・・・

今日は、5時間授業で、いつもより早く終わりました。

ぼくは、仲よしのあきら君とひろし君といっしょに帰ることにしました。

とちゅうで、この前の日曜日にいっしょに公園で遊んだことで話が盛り上がり、これから行ってみようということになりました。

でも、ぼくは、お母さんに「寄り道はダメ！」ときつく言われているし、行こうか、断ろうか迷っています。



あきら 「ちょっとくらいならいいだろ！」

ひろし 「夕方までに帰ればだいじょうぶだよ。」

ぼく 「でも、いつも寄り道するなとされているし・・・」

あきら 「見つからなければおこられないって。」

ひろし 「行こう、行こう！」

ぼくは、どうすればいいのかな？